
約 10 年前よりテレワークを開始し売上は 500 倍に

楽しく長く働ける環境で持続的な成長を叶える

「カヴァースジャパン株式会社」

家具通販専門店 カヴァースを展開するカヴァースジャパン株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役：青木康裕）は、2013 年よりテレワークを開始し、多くのメンバーが在宅で業務を行っています。
メンバーは増え続け、現時点で在宅業務をしているメンバーは 170 名を超えています。
テレワークが定着しつつある今よりもずっと以前から、カヴァースジャパン株式会社ではテレワークを行ってきました。
理想の働き方もされるテレワークの先を行く、長く働き続けられる環境づくりに注目が集まり、求人募集に応募者が殺到。メンバーの増加と共に売上も増加し、順調に成長し続けています。売上はテレワークを開始してから約 10 年で 500 倍以上増加しました。

【カヴァースジャパンのテレワークに対する取り組み】

コロナ禍をきっかけに普及したテレワークですが、アフターコロナでも継続したいという声が多くあります。
総務省発表のデータによると、テレワーク実施者の約 6 割は今後もテレワークを継続したいと回答しています¹。

多くの人テレワークという働き方を望んでいますが、課題も残されています。

同じく総務省の調べによると、テレワーク実施者の 2~3 割の人が「上司や部下、同僚と気軽に相談や会話をする、共同で作業を行う」「作業・仕事を行うための意欲の維持」を「容易に行えない」「どちらかと言えば容易に行えない」と回答²しています。
この回答結果からも、テレワークを実施に際し、コミュニケーションやモチベーションの維持に困難を抱えている人が多いことがわかります。

カヴァースジャパン株式会社では、働く人同士の関係性を重要視し、メンバー同士のつながりを大切にしています。

毎日オンラインで朝礼を行うことで、メンバー同士が顔を合わせることを実現。マスク越しの顔でのコミュニケーションではなく、素顔による表情を使ったコミュニケーションを取ることが出来るのもオンライン朝礼の魅力です。
朝礼では、作業の予定や業務に関する悩みを共有するだけでなく、業務には関係のないレクリエーションも行います。

¹ 総務省「令和 3 年版 情報通信白書」（最終閲覧日 2022 年 7 月 1 日）
<https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r03/html/nd123420.html>

² 総務省「令和 3 年版 情報通信白書」（最終閲覧日 2022 年 7 月 1 日）
<https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r03/html/nd123420.html>